

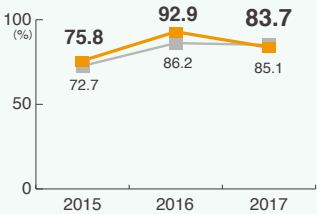
### 北海道医療大学

#### (第102回 薬剤師国家試験)

全卒業生5,582名の  
96.6%が薬剤師免許を取得。

2017年2月、第102回薬剤師国家試験が行われました。本学からは新卒者141名が受験、118名が合格し、合格率は83.7%となりました。なお、本学薬学部卒業生総数5,582名の96.6%にあたる5,393名が薬剤師免許を取得しています。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

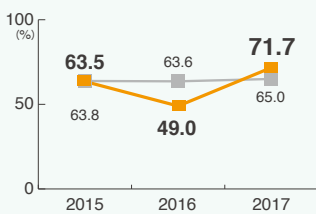


#### (第110回 歯科医師国家試験)

全卒業生3,168名の97.9%が  
歯科医師国家資格を取得。

2017年2月、第110回歯科医師国家試験が行われました。本学新卒合格率は71.7%(受験者46名・合格者33名)となりました。なお、本学歯学部卒業生総数3,168名のうち、97.9%にあたる3,103名が歯科医師免許を取得しています。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

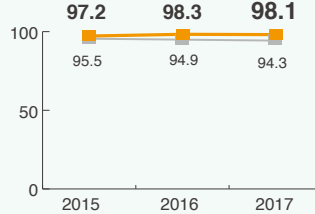


#### (第106回 看護師国家試験)

新卒合格率は98.1%。  
101名が看護師免許を取得

2017年2月、第106回看護師国家試験が行われました。本学の看護師の新卒合格率は98.1%(受験者103名・合格者101名)となりました。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

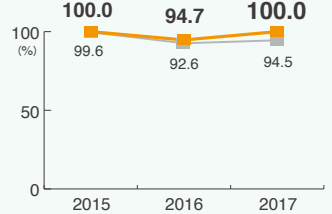


#### (第103回 保健師国家試験)

新卒合格率は100%。14名が  
看護師と保健師の同時取得を実現

2017年2月、第103回保健師国家試験が行われました。本学の保健師の新卒合格率は100.0%(受験者15名・合格者15名)となりました。14名が看護師と保健師の同時取得を実現しました(編入生1名は看護師取得済み)。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

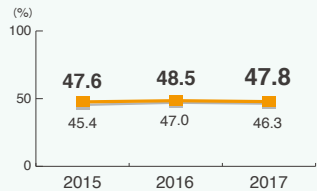


#### (第29回 社会福祉士国家試験)

社会福祉士国家試験合格率は  
全国平均を上回る好成績。

2017年1月、社会福祉士国家試験が行われました。厚生労働省の発表による社会福祉士国家試験の本学新卒合格率は47.8%(受験者92名、合格者44名)と、全国平均を上回る好成績を収めました。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

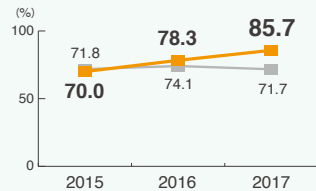


#### (第19回 精神保健福祉士国家試験)

合格者の多くが社会福祉士との  
ダブルライセンスを取得。

2017年1月、精神保健福祉士国家試験が行われました。厚生労働省の発表による精神保健福祉士国家試験の本学新卒合格率は85.7%(受験者28名、合格者24名)と、全国平均を上回る好成績を収めました。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)

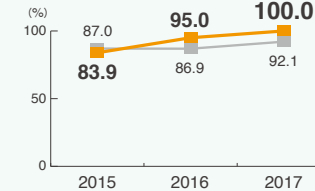


#### (第19回 言語聴覚士国家試験)

新卒合格率100%達成!  
96.8%が言語聴覚士免許を取得。

2017年2月、第19回言語聴覚士国家試験が行われました。本学からは新卒者49名が受験、全員が合格し、合格率は100.0%となりました。なお、本学科の全卒業生660名のうち、96.8%にあたる639名が言語聴覚士免許を取得しています。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



#### (第52回 理学療法士国家試験)

本学初となる理学療法士国家試験は、  
新卒者73名全員が合格し、  
合格率100%を達成!

2017年2月、第52回理学療法士国家試験が行われました。本学からは第1期生となる、新卒者73名が受験。見事全員が合格し、合格率は100%に。全国平均の96.3%を上回る好成績となりました。

■理学療法士国家資格

**100.0%**  
[全国平均96.3%]

#### (第52回 作業療法士国家試験)

本学初となる作業療法士国家試験は、  
新卒者40名全員が合格し、  
合格率100%を達成!

2017年2月、第52回作業療法士国家試験が行われました。本学からは第1期生となる、新卒者40名が受験。見事全員が合格し、合格率は100%に。全国平均の90.5%を上回る好成績となりました。

■作業療法士国家資格

**100.0%**  
[全国平均90.5%]

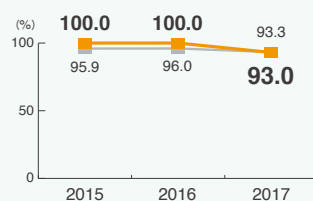
#### 歯学部附属歯科衛生士専門学校

#### (第26回 歯科衛生士国家試験)

歯科衛生士国家試験は  
開校以来の資格取得率99.7%!

本校卒業生は開校以来、今年卒業の第31期生まで、99.7%と高い国家資格取得率を堅持しています。また、本校は文部科学省の定める一定の基準を満たした専門学校なので、卒業すると「専門士」の称号が与えられます。

■本学合格率の推移(新卒のみ過去3年)



#### リハビリテーション科学部 近藤里美教授が「石崎賞」を受賞

5月26日(金)~27日(土)に沖縄コンベンションセンターで開催された第18回日本認知症ケア学会において、リハビリテーション科学部作業療法学科の近藤里美教授が「石崎賞」を受賞しました。本賞は日本認知症ケア学会大会において優秀な演題発表をした研究者に贈られる賞で、獨創性、有用性、発展性を総合的に評価します。近藤教授は、介護従事者との協働作業を通じた、重度認知症高齢者ケアとしての音楽療法をアクションリサーチを通じて考察したことが評価されました。これを通し、高齢者の認知症における音楽療法の貢献とさらなる発展が期待されます。



#### リハビリテーション科学部 大内みふか助教が 「日本理学療法士学会学術誌掲載論文優秀賞」を受賞

5月12日(金)~14日(日)に千葉県千葉市で開催された第52回日本理学療法学会において、リハビリテーション科学部理学療法学科の大内みふか助教が「日本理学療法士学会学術誌掲載論文優秀賞」を受賞しました。本賞は平成28年度「理学療法学」掲載の論文のうち、理学療法への学術的な貢献が高いと認められた研究者に贈られます。今回は骨盤臓器脱のある女性に対し、骨盤底筋体操が症状や生活の質の改善に寄与したという研究成果が高く評価されました。大内助教の研究内容である骨盤臓器脱に対する理学療法は、本邦で未だ認知度が低く、保険適応ではありません。今後エビデンス構築を通して理学療法の対象となり、理学療法士がこの分野へより関わっていただけるきっかけとなるよう期待されます。

